

⑬平成27年9月関東・東北豪雨 宮城県渋井川緊急復旧工事

受賞機関 国土交通省 東北地方整備局 河川部、北上川下流河川事務所

全建賞審査委員会の評価ポイント

平成27年9月の「関東・東北豪雨」で甚大な被害を受けた宮城県管理河川渋井川の復旧を、県からの要請に基づき国が緊急復旧し、迅速な対応によって地域の安全を確保した事業。近隣の河川防災ステーションの備蓄資材等を活用し、決壊翌日には現場に着手、6日目には復旧完了等、連携した対応により、効果的・効率的な緊急対応を行い、地域の安全を確保したことを評価。

1. はじめに

平成27年9月11日の関東・東北豪雨では、台風18号から変わった低気圧と日本の東を北上する台風17号の影響で、東北南部や関東を中心に湿った空気の流れ込み、関東から東北南部には9日から線状降水帯と呼ばれる発達した帯状の雨雲が南北にかかり続け、宮城県内は10日夜から11日朝にかけ、記録的な豪雨となった。

大崎市を流れる鳴瀬川支川の渋井川（宮城県管理）が3ヵ所で決壊し、浸水面積2,100ha、床上浸水約180戸、床上浸水約420戸の被害となった。

この決壊箇所の対策については、宮城県知事から国の技術力や機動力及びこれまでの支援実績などを踏まえての支援要請がなされ、北上川下流河川事務所が担当することとなった。



渋井川の氾濫状況

2. 事業の概要

北上川下流河川事務所では、即日（11日）にUAV等を活用した被災状況調査を実施して緊急復旧計画を検討し、翌9月12日10時00分より24時間体制で堤防の緊急復旧工事に着手した。

復旧にあたっては、いかに早く資機材を確保出来るかが重要であり、決壊箇所から約4km先にある防災ステーションの備蓄土砂を活用するなど復旧の迅速化に努めた。

9月12日には決壊箇所までの工事用道路を敷設し2工区の復旧に着手、13日に残り1工区に着手した。昼夜を分かたずに緊急復旧盛土材を搬入した結果、決壊から4日目の14日には決壊した3ヵ所全ての堤防盛立を完了させ、浸水被害の拡大防止と早期解消を図り、被災前と同等の安全度を確保した。

引き続き、堤防補強のための護岸を施工し、緊急復旧工事が完了したことから、9月16日7時に宮城県に引き継ぎを行った。



決壊箇所の復旧状況

3. 事業の成果

この復旧工事が早期に完了したことにより、浸水により避難されていた方々の早期帰宅と復旧作業が可能となった。冠水した水田では全てが1等米との評価を受けたことから地元から感謝の言葉をいただいている。



補強のための護岸完了状況

4. おわりに

今回の緊急復旧工事が1週間という短期間で終了できたのは、必要な資材の多くを備蓄資材でまかなえたことや、昼夜を分かたぬ工事関係者のご尽力、さらに関係機関の皆様のご理解ご協力の成果と考える。改めて感謝申し上げます。